

平成4年度 三翠化学会総会開催

三翠化学会

(題字は稲川先生)

第36号
平成4年3月31日発行
三翠化学会
津市上浜町1515
三重大学農芸化学コース内
電話/津(0592)32-1211
振替/名古屋9-59345
印刷/株式会社あるむ
TEL(052)332-0861大8長谷川正一



清少納言 所在地 三重県久居市榊原温泉
(0592)52-0048

交通のごあんない

- 電車で
大阪上本町より近鉄特急にて榊原温泉口下車。(約70分)
名古屋より近鉄特急にて中川乗り換え榊原温泉口下車。(約80分)
京都より近鉄特急にて八木乗り換え榊原温泉口下車。(約110分)
※温泉口より特急・急行に合わせて送迎バスが出ています。(毎時15分発)
- お車で
大阪より阪神高速南大阪線・西名阪・名阪国道・伊勢自動車道・国道165号線経由で150分。
名古屋より東名阪・伊勢自動車道・国道165号線経由で120分。

女性、若手会員のつどい

三重県支部総会も併催

5月23日(土)、24日(日)

榊原温泉・清少納言

会員の皆様には御健勝にて御活躍のことと拝察申し上げます。三翠化学会も今年卒業の新人42名を迎え、ますます発展しつつあり、同慶の至りでありませぬ。

さて平成4年度三翠化学会総会を、三重県支部総会に併せて左記のように開催させて頂きまして、万障お繰り合わせの上御参加下さいますようお願い申し上げます。

日時 平成4年5月23日(土)、24日(日)
23日午後3時30分より

記

受付開始
4時~5時 総会
6時~8時 懇親会
8時以降 クラス別二次会等、宿泊
24日(日) ドライブ等計画してあります。

場所 総会、懇親会、宿泊とも榊原温泉 清少納言
電話 〇五九二二五二一〇〇四八
女性一〇、〇〇〇円(ただし30日卒業以降の若手会員は割引あり)

先般の役員会におきまして、今後の会の発展のため、女性の

パワーと若人の活力に期待しようということになり、今回の総会、懇親会を企画致しました。聞く所によりますと今年の卒業生の約半数が女性であるとのこと、この方々の活躍なくしては三翠化学会の末長い発展は望むべくもありません。今回お集まり頂いた女性と若い方々の御意見を大いに頂きたくお願いする次第です。

久しぶりの一泊での総会、懇親会でもあります。この機にクラス会を開催頂くこともよろしいのではないのでしょうか。全体の懇親会のおと、クラス別に部屋で二次会をお持ち頂くのも興かと存じます。多数の会員の皆様の御参加をお待ち申し上げます。準備の都合上、なるべく早く、遅くとも4月30日までに、同封のハガキにて出欠の御返事を頂きますようお願い致します。

三翠化学会会長 渡辺和巳

今春卒業・修了する学生の就職、進学状況

学卒の女性5名が三重大大学院へ

大学院生17名(全員男性、内社会人1名と学部学生42名)生物資源学部学生37名、農学部学生5名、内女性21名が修了、卒業します。尤も、今年から文部省の省令改正により、学士号も学位に変わりました。従って正式には学士(生物資源学)となります。同様に修士(生物資源学)・博士(学術)と米国方式となり、博士は、英文名もPh.D.となり、新聞等で日本も急速に不況になりつつあるとの事ですが、幸いにも大半の学生が好況であった昨年前半に、就職先を決定していたため、今年度も就職担当としてはあまりたい年となりませんでした。この機会に求人等御支援頂きました卒業生の諸氏に御礼申し上げます。

大学院(修士)修了者はその内4名がさらに大学院博士後期課程に進学しますが、このうち

の2名と社会人3名(中整醸造(株)研究所員、太陽化学(株)研究所員、三重県工技センター職員)の計5名が農芸化学コース関係で進学又は入学します。本学部のこの課程はかなりユニークなもので、その具体的な内容に就いては紙面での説明は困難ですので御関心のある方は是非山田又は、次期主任の高橋先生迄御連絡下さい。

特に修士課程を修了していませんので、これを認定する制度がありますので、社会人入試制度と併せて、現職のまま博士課程の学生となる道が開けておりますので御活用下さい。修士修了者の大半は社会に巣立ちます。学部卒業生は約半数の22名が大学院博士前期(これまでの修士課程)に進学し、他大学の大学院に進む数名を除いて大部分が三重大大学院に進学します。この中に、近年になく女性が5名含まれております。

農学部学生は今春卒業の5名をもって農芸化学科からは全員卒業し、名実ともに生物資源学部に進学することになります。又今年生物資源学部第1回目の卒業生であります。今後とも先輩諸氏の御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。

コース主任 山田哲也

生物資源学部 農芸化学コース

上門義和 京都府教員
上坂直子 日本合成ゴム(株)

植村恭子 日本合成ゴム(株)
右京政補 三重大大学院
梅下律子 京都大学大学院
貝谷康治 三重大大学院
茅切利也 台糖(株)
川島圭子 三重大大学院
河野昭宏 三重大大学院
菊地 覚 三重大大学院
葛谷敏子 ポッカコーポレーション(株)
酒井浩司 三重大大学院
佐合美紀 三重大大学院
佐藤藤行 名古屋大学大学院
塩原智子 三重大大学院
清水加奈子 日本商事(株)
高木健一郎 名古屋大学大学院
武村政春 三重大大学院
田中里織 コーミ(株)
谷口 愛 井村屋製菓(株)
富田いずみ 敷島製パン(株)

中田裕二 (財)日本食品分析センタ
中辻晶子 協和(株)
西岡美幸 三菱油化(株)
西田 勇 三重大大学院
西辻耕治 三重大大学院
浜田直子 (財)日本食品分析センタ
早野寛仁 三重大大学院
原まゆみ 日本合成ゴム(株)
福井又佳子 三重大大学院
福原美奈 三重大大学院
水谷有日子 住友電装(株)
宮城智子 三重大大学院
毛受信雄 三重大大学院
藪野佳寿郎 三重大大学院
山岡美保 (株)マスマ
吉田芳江 三菱油化(株)
農学部
秋元政人 三重大大学院
窪田充宏 敷島製パン(株)
長岡敏之 小川香料(株)
宝来研司 大阪府立大学大学院
山崎真一 住江織物(株)
伊藤一樹 サッポロビール(株)

上田 聡 藤沢薬品工業(株)
上野裕三 (財)日本食品分析センタ
榊田弘幸 三重大研究生
小島久毅 萬有製菓(株)
竹田博之 未定
戸田 務 埼玉大学大学院(博士後期課程)
中川 仁 三重大大学院(博士後期課程)
中澤良隆 日本臓器製薬(株)
西藤泰昌 広島大学大学院(博士後期課程)
服部 隆 東洋紡績(株)
福村正之 三重大大学院(博士後期課程)
藤原正也 ファイザー製薬(株)名古屋工場
宮本佳典 森永乳業(株)
村松康彦 全国農業協同組合連合会
吉川和宏 積水化成工業(株)
須藤 秀 御木本製菓(株)

役員、評議員会だより 第3回会議 報告

本年度第3回会議が2月14日6時より津市橋北公民館で開催された。当日の出席者は21名、評議員の出席が皆無であったことは残念だが長時間にわたり活発な討議があり、以下内容の要点を報告します。

本年度第3回会議が2月14日6時より津市橋北公民館で開催された。当日の出席者は21名、評議員の出席が皆無であったことは残念だが長時間にわたり活発な討議があり、以下内容の要点を報告します。

議題は3件あり、
1. 平成4年度総会開催について
本年度総会は例年の慣習により、学外にて開催、三重支部が手伝いすることとなり、討議の結果本紙一面にて発表通りに決定した。いつものことながら、総会出席者数の確保の件で討論が集中した。若い会員(特に30期以降)と女子会員の参加を切実に呼び掛けた。(農学部初期の頃は、1クラスに1~2名であった女子会員が、この10年位前から3~4割と増加し、特に生物資源学部になってからは、男子会員と半々になっている実情が知られた。)

今総会は(若人会員と女子会員のつどい)をキャッチフレーズにする。三翠化学会の活性化のために、貴重な財源ではあるが、基金を有効に使うことも考えてゆく。

2. 会報36号発行について
36号は2ページとし、原稿の締切り2月29日、発行は3月31日、総会への出欠回答の葉書を同封して、4月中旬迄に発送する。会報記事の内容及びその執筆者を決定する。

3. 基金の支出について
本年度の卒業生59名(学部42名、修士17名)に例年の記念品を贈るため、ネーム入りシャープペンシル1本一、四〇〇円の59本分とその消費税合計額の支出を承認する。

*総会へ出欠有無の回答期限を4月30日とし、その集計を待つて次回の役員、評議員会を5月8日に開催することを決めた(大4A、S記)



近頃の話

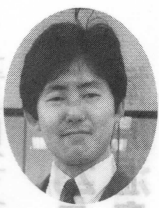
十周年記念に植えられた榊も元気に育っています。標柱が腐ってきたので、新しいものと交換しました。



新任教官紹介

三翠化学会の皆様はじめまして

稲垣 穰



平成3年12月1日付で生理活性化学研究室の助手として赴任した稲垣 穰です。着任して教授会の冒頭で挨拶せよと呼ばれましたときに学部長の野田先生から「稲垣君」という名前を生物資源学部にピッタリですと紹介していただきました。私も自身も大学で農学部を専攻した時点で名前の通りになってしまったなあ、と気付いていました。昭和37年9月21日、横浜で生まれ、子供の頃から昆虫(ムシ)

が大好きだった私は化学が面白くなり、信州大学農学部農芸化学科を選びました。大学の卒論研究で与えられたテーマはペプチドの化学合成でした。このときDL-アミノ酸の化学から不斉合成に興味を持ち、京都大学大学院では不斉合成反応の開発と応用について研究しました。そして今回、三重大学に採用していただきました。生体高分子と低分子化合物の起す分子認識を有機化学的な視点から解明する様な研究をしたいと考えています。何事にも経験不足ではありますが、熱意は持っていると思っております。三翠化学会会員の皆様にはよろしくご指導のほどお願い致します。



仏まいるの仙人たち

秘湯で15人の仙人誕生

専2クラス会

専2クラス会は、晩秋の北陸路―辰口温泉で開かれました。私たちのクラス会は、三重・愛知・関西・中国の四地区を持ち回り、世話方をしております。今回は、北陸ただ一人の会員沖津茂次君の用意周到な計画で、すばらしいクラス会を楽しませて頂きました。懇親会には15人が集まりましたが、その席上、これからは「専2会」をもっと「仙人会」にしようということ、初代仙人会長には竹内蔵君を推薦することになりました。私たちは、60を超えて、自らを仙人たんと誓ったのです。しかし、仙人会の宴たけなわとなるや、バストゆたかなコパンニオン二人が現われて、北陸の秘湯ならではの情緒を堪能させて頂き、仙人たちの老眼がキラメキ始めたのでございます。これも沖津君の温かいおもてなしと仙人一同感激致しました。



「七栗の湯」での専3若老18名

お得なシルバー会員制度の導入を望む
会費の収め方に新しい方式を採用して頂きたく、ここにお願います。次年度です。シルバー会員の資格と特典
シルバー会員になるには60才

会費納入方法
についての
意見

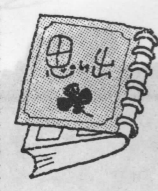
「七栗の湯」での専3若老18名
参加も流石に悠々。昔からの勉強好き約10名、三翠会館に早出、嶋田教授案内のもと久し振りの学舎を訪れ、当時の面影の始んと失せた三翠、町屋、上浜町の街並みに40年の歳月を感じて後、宿へ。矢つ張り多忙の数々、直接宿へ。今だに遊び好きの若干名は、カントリークラブでお池にボールを運んでから宿へ。

翌日は、ハニハ蔵院・ゆのくにの森・那谷寺・ユートピア加賀の郷を回って、加賀温泉駅で再会を約しました。今年も、関西地区のお世話で、11月7・8日有馬温泉で行います。(専2 中川潔彦記)

孫自慢の声高く 専3クラス会

91.10.25 隔年開催の専3農産製造クラス会。東海・近畿・東京と巡って、久しぶり地元開催。一昨年卒業は、丁度40年経過。すべて還暦を経た甲羅ばかり。2年振りの顔合せとなるとはば類型のメンバー。集える若老18名。宿は、清少納言ゆかりの「七栗の湯」神原温泉で。近況報告、「孫は可愛い」「孫はエエゾ」の声がかなり大きめな声で、約半数は孫が揃って来た。健意気旺んといえども60代。健康にはくれぐれも日頃の管理を要し、合せて93年は、港神戸で再会を約し、翌朝、全く霧の青山高原見晴台で東と西へ。なおクラス会の会計庶務部長は、今までどおり、一番最後まで生き残る陽子女士にお願い申し上げます。(報告・クラス会初参加の鈴木重夫)

随想 ザ・定年



昨年岩田君より「一緒に富士登山をした事を思い出した。次に書いてもらいたい」と依頼がありました。私は社会人の第一歩を津高校教師(全日制と定時制兼任)としてふみ出しました。しかし東京兜町の全国製粉倶楽部で研究室を新設するにつぎ技術者を求めているとの事で入社した為わずか5ヶ月位でやめてしまいました。当時製粉業界は統制の時代で内外の原料小麦をテストミルで製粉の上分析、その格付をしたり各製粉会社の製品を分析していました。そこは主に四大製粉より出向している方で構成されて居り、農専では製粉学という講座がなかっただけに四

北欧でのクラス会

専1 岡 敏郎

様には売れませんでした。自分で配合設計から生産担当しました。しかし入社2年後三島駅裏の主力製粉工場が火災の為全焼、操業不能となりましたので飼料工場の倉庫を改造し人造米とマカロニの工場を新設、その製造研究を担当しました。当時人造米は国策事業という事で殆どの製粉会社が小麦粉を原料として製造しました。しかしこれも一過性のもので間もなく中止、人造米の機械をマカロニに

会費納入のお願い

- ①年令とともに会費の支払いを忘れるので不払い防止策。
- ②当人はできるだけ無料の期間を長引かせるようガンバる。
- ③その反対ならば余分に会費が納入される。
- ④一種の優越感がある。
- ⑤会費納入率の向上となる。

計 報

本会会員 簡井文生氏(天)には昨年12月逝去されました。役員、評議員会だよりもありますように三翠化学会の会計はかなりひっ迫しております。会費納入をぜひお願い致します。なお本年度第2回役員評議員



(次は芝田博さん)